

【考え方】・多様で幅広い市民の皆さまから意見をお聞きし、次期総合計画策定に活かす。
・ウイズコロナ時代における適切な手法を取り入れ、多彩な参加形態を確保する。

年度	目的	手法と性質	取り組み	参加対象者	想定人数	
令和3年度	幅広く定量的な 基礎資料の収集	アンケート	新設 市民アンケート	幅広い市民意識調査 ・書面やLINEによるアンケート ・まちづくりに関する設問	市民	4,000人
			新設 LINEアンケート		新潟市LINE ともだち登録者	14,000人
	個別テーマの定性的な 意見聴取	ワークショップ	新設 ダイバーシティ ワークショップ (オンライン開催)	ウイズコロナ・ポストコロナ時代の 新潟市のまちづくりに対する意見聴取 ・多様多世代な視点による意見交換 ・コロナ禍による意識変化	多様・多世代 (転入者、高齢者、 外国人など)	50人
			新設 子育て世帯 ワークショップ	自然減による人口減少への意見聴取 ・子育て世帯による意見交換 ・理想の子ども数と実際の子ども数	子育て世帯	50人
			拡充 大学・短大・専門学生 ワークショップ (オンライン開催)	社会減による人口減少への意見聴取 ・学生による意見交換 ・職業を理由とした20~24歳の転出	大学生、短大生、 専門学生	30人
	次期区ビジョン策定に向けた 意見聴取		自治協議会 区ビジョンワークショップ	次期区ビジョン策定に向けた意見聴取 ・自治協議会委員による意見交換 ・区ビジョンの目標到達点や課題を整理	自治協議会委員	240人
	上記に加え、 中高生・各団体の意見を聴取	その他	新設 市内中学・高校生 政策提案	中学・高校生の意見や提案を聴取 ・「10年後の新潟市」等に関する学習を支援 ・学習成果としての意見や提案	中学生、高校生	2,240人 (5校)
			関係団体への 意見照会	関係団体・企業等への意見聴取 ・経済団体、NPO、市民団体、企業等	各種団体・企業等	未定
4 令和 年度		その他	自治協議会意見交換 パブリックコメント等	自治協議会委員 市民	未定	